

登録コード	HM238100	開講年度	2026			
授業題目	老年保健学特論				担当教員	上村 智子 他
英文授業名	Special Lectures in Geriatric Health Science				副担当	會田 信子・横川 吉晴・務臺 均・佐賀里 昭
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・5 時限 木曜・6 時限	対象学生
講義室	保健学科 2 1 1 講義室		授業形態	講義	備考	必修科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				老年期における心身の健康問題の予防や治療やケアを目的とした保健学の取り組みと, EBPの観点にそった研究法, さらに研究成果を政策提言としてまとめる方法論について説明できる	
(2)詳細 /Detailed information	一般学習目標G10 (期待される学習効果) 老年期における心身の健康問題の予防や治療やケアを目的とした保健学の取り組みと, EBPの観点にそった研究法, さらに研究成果を政策提言としてまとめる方法論を修得する。 SB0s (行動目標) ・健常および虚弱高齢者の活動能力関連要因を分析し, 研究方法を検討することにより研究デザインを立案できる。 ・加齢性疾患を有する人や高齢のがん患者の活動および参加制限を理解し, それに対する効果的なりハビリテーションを分析・検討することができる。 ・地域在住高齢者の社会参加と健康の関連性を説明できる。 ・高齢者のための新たな生活支援プログラムの必要性と, プログラム開発の研究について説明できる。 ・高齢者を介護する家族や介護従事者で派生する諸問題をミクロ・マクロ的に分析し, 保健・医療・福祉サービスの向上に資する方法論を多面的に検討し, 政策提言としてまとめることができる。					
(3)授業の概要 /Overview of course	高齢者への保健・医療・福祉サービスの有効性を生活機能や生活の質 (QOL) 向上の視点から分析する理論的枠組みをリハビリテーション科学や看護学の立場から考究し, サービス向上に資する方法論について理解を深める。 本授業は, 担当教員の保健・医療機関における活動経験を活かして講義を行います。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。					
(4)授業計画 /Course plan	開講日時は受講学生と検討のうえ決定する。 第 1回: 高齢者医療・ケアの場で派生する諸問題1: 問題の分析 (會田) 第 2回: 高齢者医療・ケアの場で派生する諸問題2: 問題解決の方略 (會田) 第 3回: 高齢者医療・ケアの場で派生する諸問題3: 政策提言 (會田) 第 4回: 健常高齢者や虚弱高齢者の活動能力とそれに関連する要因 (横川) 第 5回: 健常高齢者や虚弱高齢者の活動能力を保持する方略の研究1 (横川) 第 6回: " 2 (横川) 第 7回: 地域在住脳卒中者の生活に関する課題と支援 (務台) 第 8回: 地域在住高齢者の社会参加と健康1 (務台) 第 9回: 地域在住高齢者の社会参加と健康2 (務台) 第10回: がん患者のりハビリテーションに関する研究1 (佐賀里) 第11回: " 2 (佐賀里) 第12回: " 3 (佐賀里) 第13回: 高齢者のための新たな生活支援プログラムがなぜ必要か (上村) 第14回: 高齢者のための生活支援プログラムの開発研究1 (上村) 第15回: " 2 (上村) 日程については, 事前に履修学生と相談して決定し, ライブ配信するズームのURLと一緒に, 連絡します					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	課題レポートと授業での積極的な発言に基づいて総合的に成績を評価します 課題レポートの評価基準は, (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している (秀) 」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある (優) 」。4項目までできていれば「やや上にある (良) 」。3項目までできていれば「水準にある (可) 」です。					
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト ・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s) /Reference work(s)	【事後学習】授業のまとめを作成して, その内容を反映して, 課題レポートを作成し, 授業終了後の期限までに提出してください。レポートの課題は各単元の初回の授業で説明します。質問にはメールで回答します。 【履修上の注意】 web会議システムによる遠隔授業を行う場合は, 事前にアクセスID / パスワードを通知します。					

(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	質問・相談は，メールにて随時受け付け，積極的に対応します。 開講日については，別途，連絡します。 オフィスアワー 上村：木曜日12時～13時 保健学科中校舎4階 上村研究室（事前にメールでご連絡ください） tkamimu@shinshu-u.ac.jp 横川：火曜日12時～13時 保健学科南校舎4階 横川研究室（事前にメールでご連絡ください） fhakuba@shinshu-u.ac.jp 會田：随時 保健学科中校舎3階 會田研究室（事前にメールでご連絡ください） aida@shinshu-u.ac.jp 務台：随時 保健学科南校舎2階 務台研究室（事前にメールでご連絡ください） hitmutai@shinshu-u.ac.jp 佐賀里：随時 保健学科南校舎2階 佐賀里研究室（事前にメールでご連絡ください） sagaria@shinshu-u.ac.jp
(8)授業の形式 /Course format	授業は配布資料に基づいて進めます。 また，各単元の最初に提示する課題を実施していただきます。 授業は遠隔授業で行い，オンラインのライブ形式の講義，もしくは，学生のプレゼンテーションとディスカッション形式で進めます。